



子どもたち 先生方の笑顔のために

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください



令和4年6月13日発行

第4号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

シリーズ「ここが大切 授業づくり」 道徳科編

指導の意図を明確にしましょう

指導の意図っていうけれど、教師の価値観を押し付けてしまっていることにならないのかな？



「こんなときにはこうしましょう」と伝えてしまうことは、価値観を押し付けていることになり、道徳の授業では適切ではありませんね。「指導の意図を明確にする」とは、教師として、本時の授業でこんなことを考えてほしいと構想することです。



「教材：雨のバス停留所で（規則の尊重）小4」で考えてみよう！



道徳的
価値

ねらいとする道徳的価値について、学習指導要領に示された内容項目に基づき、明確な考えをもちます。

きまりが守られている場合は、安全で安心して過ごすことができるし、自他の権利を尊重することにもなるね。「学習指導要領に示された内容項目に基づき」が大切だね！

児童生徒
の実態

ねらいとする道徳的価値について、日頃、どのような指導を行い、その結果としての児童生徒にどのようなよさや課題があるのかを明らかにします。

きまりの大切さは分かっているけれど、きまりの意義やよさを自分の行動と結び付けて考えることに難しさがあるみたいだね。

教材の
活用

授業者の意図、児童生徒の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにします。

母親の横顔を見ながら自分の行為を振り返る場面を追求の中心場面として、周りの人への配慮について語る子供の考えを全体で追求してみよう。

ねらい
きまりの意義を理解し、周りの状況を考えて、きまりを守ろうとする判断力を養う。

指導の意図を明確にすると、授業のねらいがはっきりするね！
その上で、自分を見つめたり、多面的・多角的に考えたりして、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を展開していくんだね！

